

コロナ感染症から子どもと教育を守ろう！NEWS(8)

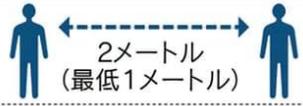
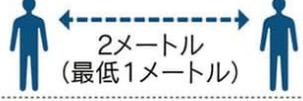
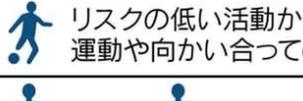
新型コロナ感染症に関する通知などの情報や、府高教のとりくみ、現場の声をお伝えします

文科省「学校の新しい生活様式」を通知

文科省は5月22日、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」を各都道府県教委に通知しました。

◆段階別で実施できる教育活動などを示す

文部科学省による「学校の新しい生活様式」

感染レベル レベル3		【身体距離の確保】 できるだけ 2メートル程度
		【教科活動】 理科の実験・観察、音楽の合唱・ 管楽器演奏などはおこなわない
		【部活動】 なるべく個人での活動にする。 少人数の場合、十分な距離をとる
レベル2		できるだけ 2メートル程度
		実験・観察など感染リスクの低い活動から 徐々に実施。回数や時間を絞ることも検討
レベル1		1メートルを目安に学級内で 最大限の間隔をとる
		リスクがあるものも可能な限り感染症対策 して実施
		可能な限り感染症対策をして通常の 活動をする

(日経WEB 5/23 より)

地域の感染リスクを3段階に分け、距離の取り方、実施できる教科活動や部活動などの内容を示されています。

レベル3	…生活圏内の状況が、「特定(警戒)都道府県」に相当する感染状況である地域
レベル2	…生活圏内の状況が、「感染拡大注意都道府県」に相当する感染状況である地域
レベル3	…生活圏内の状況が、感染観察都道府県に相当する感染状況である地域のうち、レベル2にあたらぬもの

※5/14に「専門家会議」が提言した区分

文科通知本文はこちらから… (41ページあります)

https://www.mext.go.jp/content/20200522_mxt_kouhou02_mext_00029_01.pdf



◆学校の再開は条件整備と一体で!

3ヶ月の長期にわたって臨時休業が実施されたもと、十分な感染防止を行いながら、教育活動を再開することが求められています。しかし、「身体的距離の確保」や「3密回避」を確実に行うためには「20人学級」などの条件整備が必要であり、教職員の人員増が不可欠です。また「非接触型体温計」「フェイスシールド」「消毒液」「マスク」などの物品支給、エアコン稼働に対応して管理費増なども欠かせません。こうした条件整備を棚上げしたまま、現場に「新しい生活様式」の実施を求めるのは、極めて無責任です。「**学校の再開は条件整備と一体で**」の要求を掲げ、現場から国・府に要求をあげていきましょう!

また、欧米など諸外国に比して、そもそも過密な「40人学級」を見直し全学年で少人数学級を実現することが求められています。教育予算増に向けて「**えがお署名**」などの取り組みに全力をあげましょう!

バックナンバー



新型コロナ対策について
ご意見をお寄せください
osfuko@yahoo.co.jp



【速報】5/22 府教委は、妊娠中の女性に対する配慮、在宅勤務等の継続を通知しました。

(詳しくは 5/25 府高教情報No.9、10)